

(別紙)

令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 神奈川県

【基本情報】

フリガナ	シヤカイフクシホウジンカナガワキョウトウカイ
法人名	社会福祉法人かながわ共同会
フリガナ	アイナヤマユリエン
事業所名	愛名やまゆり園
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
86.4 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) 排泄予測デバイスDfree(1台)

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	5人	1 移動・移乗・体位変換	0件		0人時間	#DIV/0!	
		2 排泄介助・支援	300件	3,600件	10分	3,000人時間	120時間
		3 生活自立支援(※1)		0件		0人時間	#DIV/0!
		4 行動上の問題への対応(※2)		0件		0人時間	#DIV/0!
		5 その他の直接介護		0件		0人時間	#DIV/0!
間接業務	1人	6 巡回・移動	0件		0人時間	#DIV/0!	
		7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	300件	3,600件	15分	900人時間	900時間
		8 見守り機器の使用・確認		0件		0人時間	#DIV/0!
		9 その他の間接業務		0件		0人時間	#DIV/0!
		600件	7,200件	25分	3,900人時間	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

・排泄介助・支援 5人(1日あたりの従事者(早番2人、遅番2人、夜勤1人)。職員1人あたり1日2回誘導。5人×2回×30日)
・記録・文書作成・連絡調整等 1人(1日10件(名)程度) 1人×10件(名)×30日

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

・排泄介助・支援 平均時間
・記録・文書作成・連絡調整等 平均時間(時間外で認めている記録の時間)

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	5人	1 移動・移乗・体位変換	0件		0人時間	#DIV/0!	
		2 排泄介助・支援	225件	2,700件	8分	1,800人時間	72時間
		3 生活自立支援(※1)		0件		0人時間	#DIV/0!
		4 行動上の問題への対応(※2)		0件		0人時間	#DIV/0!
		5 その他の直接介護		0件		0人時間	#DIV/0!
6 巡回・移動		0件		0人時間	#DIV/0!		

間接業務	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	1人	300件	3,600件	15分	900人時間	900時間
	8 見守り機器の使用・確認			0件		0人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0件		0人時間	#DIV/0!
			525件	6,300件	23分	2,700人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

・排泄介助・支援 5人(1日あたりの従事者(早番2人、遅番2人、夜勤1人)。職員1人あたり1日1.5回誘導。5人×1.5回×30日)
 ・記録・文書作成・連絡調整等 1人(1日10件(名)程度) 1人×10件(名)×30日

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

・排泄介助・支援 平均時間 適切なタイミングでトイレ誘導ができることで、漏れの削減やトイレでの排尿時間が短くなることにより 2分/件削減が可能となった。
 ・記録・文書作成・連絡調整等 平均時間(時間外で認めている記録の時間)

年間業務時間数想定削減率(%)

30.8%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

・トイレ誘導やおむつ交換の空振りや漏れをDFreeの通知により利用者の排尿のタイミングでトイレ誘導やおむつ交換が可能となるため
 ・タブレットでの排泄記録の入力による紙への記入の手間や時間の削減が可能となるため

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

・トイレ誘導の目安が図れ、利用者の排泄誘導での負担が軽減した

(5)今後の課題

・自分で機器をいじってしまう利用者に対しては使用できない。他の方法を検討する必要がある
 ・機器の初期コスト、運用コストが複数の利用者に装備してもらうには高額である
 ・記録の時間は減少することはなかった

(6)気づき等について

・排便についても同じような機器があるとよい

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

・数値が見やすいので、設定さえすれば、機器の扱いが苦手な職員も使用できるので、業務負担が減少した。
 ・排泄の定期誘導が若干減少したので、定期誘導に伴う職員の負担が減少した。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

・対象者の定期誘導は若干であるが減少したので、定期誘導に伴う利用者の負担が減少した